

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No.
184
2017.10.25



町村議会広報研修会（平成29年9月28日開催）

第3回八丈町議会定例会

平成29年9月7、8日開催

目次

- 企業会計の赤字やむを得ず、さらなる
創意工夫で増収を 2P
- 一般質問 3P
- 広報研修会レポート 10P
- 定例会の質疑から 11P

第三回八丈町定例会

(平成29年9月7、8日開催)

企業会計の赤字やむを得ず。 さらなる創意工夫で増収を!

客船寄港時、港で観光客を待機しているバス



お絵かきバス



29年第三回定例会では、29年度補正予算審議に続き、28年度公営企業決算認定を行いました。いずれの事業も赤字であり、水道事業662万6千円、バス事業6100万円、病院事業2億5000万円が一般会計補助金として赤字のために繰り入れられています(税抜金額)。

◎水道事業

人口減少が経営に大きく影響しています。しかし、全ての住民の生活に大切な事業であり、どんなに経営が苦しくとも存続させていかなければなりません。できる限り水道料金は上げたくないと町民の意向もあり厳しい経営状況が続いていますが、集金制度の廃止等の効率化で純損益が減少していることが報告されました。

◎病院事業

決算審査意見書において「28年度に策定された新たな経営プランの下で、経営改革による取り組みによる目標達成」について早期目標が達成されるよう指摘されました。

以上2事業については、今後とも大きな収益の増加は見込まれません。公共サービスの存続のためにも未収金の防止や効率化によって少しでも収益が上がることを望まれます。

◎バス事業

乗合2176名、貸切5

096名の輸送人数増加により、前年度に比べて売上が増加しています。観光施策であるバスの団体3割補助制度や官民による誘致活動が功を奏したものと考えられます。今年度についても来島者数は確実に増加しており、さらなる誘致活動や、以前より要望されている利用しやすい乗合バスルートの開発等、少しでも増収に結びつく施策が必要でしょう。

本会議終了後には全員協議会が開催され、八丈町雇用機会拡充事業補助金審査選定結果や今年度の青ヶ島村との合同総合防災訓練等の説明がありました。前者は「有人国境離島法」を根拠とした内閣府の新しい補助事業です。国が派遣するアドバイザー制度のしくみや個人事業者への支援等、町としても初めての取り組みですが、事業が円滑に進むよう関係各所との情報交換をより密にすることが重要です。

(岩崎由美)

新学習指導要領への対応は

答

既に先行実施中だが、小学校外国語教育の時数確保が課題



山本 忠志 議員

◆所要時間 33分

本年3月、文部科学省より新学習指導要領が公示された。
小学校においては、平成32年度より完全実施される予定である。
大きな変更点は、
①「道徳」の特別教科化
②小学校3・4年生の外国語活動開始、5・6年生の外国語を教科化
③プログラミング教育の必修化
の三点。これらへの対応が注目される。
問この変更に対し、具体的

にどう推進していく考えか、見解を。

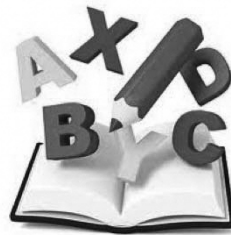
☑教育課長 小学校の「道徳」については、平成30年度からのスタートに向け、既に教科書採択を終え、準備を進めている。
小学校の外国語教育については、今年度より三校ともに先行実施中で、完全実施に備えている。

☑教育長 時数確保等の課題はあるが、学校や保護者と相談しながら進めたい。また、ALT(※)の増員も考えている。

プログラミング教育はこれからの社会の変化に対応するもので、その推進は設置者の責務と考えている。都の補助を受け、三根小、大賀郷小、三原中にそれぞれ

れ60台のタブレットを設置して活用している。

※ALTとは…日本人教諭を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える外国語指導助手。



がん対策の更なる充実のために

答 住民の要望に応えられるよう、可能な範囲内で検討する

がんは、生涯の中で2人に1人がかかると言われ、日本人の死因のトップと言われている。

そのステージによって、手術を受けたり定期的な上京して治療を受けねばならず、患者や家族の心身の負担と共に経済的負担も大きく、今後の治療継続に

不安を抱いている町民も多い。

☑「島外医療機関へ通院される方への交通費一部助成」制度の運用の幅を拡大し、町民のニーズに応えられるよう検討していただけないか。

☑福祉健康課長 平成28年度の助成件数は505件。その内、がん関連件数は74件あった。他の病気で定期的な上京し通院している方もいるので、助成対象者にアンケートを実施し、補助の見直しを検討する。

☑町で実施している「健康診査・がん検診」の精度向上のために、胃の内視鏡検査を導入できないか。

☑福祉健康課長 現在は、バリウムによるレントゲン検査を実施している。今年度の胃がん検診受診者は、375名であった。

内視鏡検査は、精度は高まるが、時間を要するため検査人数が制限される。

今後は、バリウムと内視鏡検査を選択制にする等、改善を検討したい。

☑胃がん等のリスクを軽減するため、その主因とされているヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)の感染検査を中学生(希望者)を対象に、健康診断時の尿検査の際に無料で実施できないか。

☑教育課長 ピロリ菌保持者が必ずしもがんになるとは限らず、また若年時検査の効果も立証されていない。また、除菌薬による副作用も報告されているため、現在のところ中学生を対象としたピロリ菌検査は考えていない。



有人国境離島雇用機会支援事業について

答

来年度は活用意向調査を踏まえ、20件の予算を要望したい



山下 巧 議員

◆所要時間 10分

この事業は特定有人国境離島地域における創業・事業環境の不利性に鑑み、民間事業者が雇用増を伴う創業または事業拡大を行う場合の設備投資資金や、人件費、広告宣伝費などの運転資金を最長5年間支援するところ。

成長戦略として創業、事業拡大支援から税収を上げ、国境離島の活性化は国防施策であるとの説明があった。

国事業資金負担割合の地方公共団体4分の1は、町・

都どちらが負担するのか。全額町負担となると支援に制約があるので。

国企画財政課長 国からはどちらが負担するかは明記されていないが、他の自治体では負担の4分の1を県町村で折半出来るものと標準的な考えで協議する。

国今年度の予算規模と現在の進捗状況、来年度の見通しについては。

国今年度は事業費ベースで総額2200万円。創業600万円、事業拡大に1600万円の2件を選定し、国の交付決定に向けて進めている。来年度の交付金は活用意向調査を踏まえ、国、都へ要望を上げ、国の査定もあるが合わせて20件の予算を要望したい。

空港と港の玄関整備を

答

安全のため前向きに検討したい

この夏、多くの観光客が訪れたが、島の玄関といえる八丈島空港、底土客船ターミナル周辺の交通路が以前から指摘されているものの改善がされていない。

国底土港は下船してからタクシー乗り場まで登り坂を荷物をもって移動しなければならず、利用者の利便性が考慮されていない。タクシーを第一に優先し、高齢者や社会的弱者に配慮し、八丈島へ上陸した時、好印象で受け入れたいが、どうかならないか。また、堤防のイラスト壁画も放置状態だが今後の予定は。

国企画財政課長 タクシー乗り場の改善の必要性は考えている。前向きに検討したい。イラスト壁画については、人の導線も変わり、

老朽化が著しいものについては、消去するなどの対応をする。



国空港は5台ほどしか停車出来ない乗降スペースにタクシー、レンタカー、送迎車、搬入車が利用するため、到着時は数百名の人で混雑し、大変危険である。今年に入ってから歩道を踏み外した転倒事故があり救急車を要請した。冬場の最終便では足元が暗く危険が多い。ケガに至らない転倒も見受けられる。その後支柱に看板で注意表示をしたが改善策を。

国空港停車スペースは、支庁港湾課と空港ビルで段差がわかるよう白ペイントを施し、段差注意の看板を設置し、注意喚起に努めている。空港ビルのリニューアルに合わせて、安全対策を含め何が出来るかを支庁港湾課、空港ビルと相談したいと考えている。



八丈町立保育園の課題と対応は

答 人材確保と将来を見据えた計画で地域の子育て力を向上させる



岩崎 由美 議員

◆所要時間 29分

人口増加施策において特に若い世代を呼び込むためには子育て支援の充実が大きなポイントだが、未満児保育等について不安な声も聞く。

園島内の各保育園における課題と対応は。

〔答〕福祉健康課主幹 今年度4月時点では待機児童ゼロで保育園がスタートしたが、9月1日現在、待機児童が出ています。自治体運営の保育事業については一部を除いて国の補助金はな

い。前年度の実績で約2億

5000万円の6割は一般財源で負担しているが、総額の8割は人件費となっている。地方分権によって、保育事業についても自治体である程度権限は持てるようになったが、財政力によって格差が生じているのが現状だ。課題としては未満児保育のニーズが増えた事による保育士不足。定年退職等を見込むと、職員の体的制にも厳しい状況が続く。

また、ハード面では施設の老朽化があげられる。坂下の2園は築30年以上経過し、建物だけでなく設備も古くなっているため、維持管理も厳しい。

課題への対応としては、保育士の資格取得のため、町単独補助金を今年度創設したほか、職場体験の受け

入れや保育士を目指す都立八丈高等学校の生徒を保育補助アルバイトとして採用し、将来の人材確保に努めている。組織面については状況を考察しながら保育園運営に支障のないよう検討していく。

ハード面についてはまず財源の確保に努力していきたい。現状では町においてハード事業が立て込んでおり、一般財源を確保することが非常に困難になっているが、様々な補助制度を検討しながら、今後の人口動態を加味し、将来を見据えた計画を各課や町の総合計画とすりあわせて策定していく。地域の子育て力の向上を目指していきたい。



若草保育園

八丈小島全島民引き揚げ50年に向けて、八丈町の計画は

答 予定はしていない

戦後最後の直接制民主主義である村民総会が行われていた宇津木村、全島民離島の歴史、クロアシアホウドリを初めとした自然資源等、離島への注目が高まる中、八丈町にとって八丈小島の価値は計り知れない。

〔答〕平成31年（2019年）は、八丈小島全島民離島から50年目に当たる。八丈町ではこの機会に、どのような事業を計画予定しているか。

〔答〕総務課長 八丈町にとって八丈小島は大変貴重であると認識している。八丈町の基本構想基本計画においても、船着き場を整備することを検討するという記述がある。環境省により国立公園における自然文化資源を活用した魅力創造事業が

立ち上がった。適正利用のための地域ルールの作成等について、環境省や東京都、関係機関と進めていく予定。宇津木村の当時の村民総会の現存資料がほとんどないなかで、歴史的観点からの研究を少しずつでも続けながら、八丈町としても情報発信の在り方を検討したいと思っている。

離島50年の事業は現在予定していない。



南原に建てられた「八丈小島忘れじの碑」

中学生の合同部活動のバス代金の補助を

答

ニーズを調査し、来年度に向け検討したい



浅沼 憲春 議員

◆所要時間 7分

中学生の部活動は、少子化により単独での部活動ができず、三中合同での部活動を行っており、富士中・大賀郷中・三原中のバレーボール部25名、バスケットボール部24名、野球部22名、サッカー部23名(6月現在)の合計94名は、公式戦の1〜2ヶ月前から平日も合同練習を行い、試合直前には週3〜5日の合同練習を行っている。

合同練習の移動は、三原中での練習の場合は、富士中・大賀郷中の生徒が、富士中や大賀郷中での練習の場合は三原中の生徒が移動している。各部活動公式戦の1ヶ月前は、学校の予算でタクシー等の利用は可能だが、金銭面の限度もあり、それ以外の移動は、保護者等の各自での移動や、乗り合いでの移動を行っており、仕事などで他の保護者をお願いするケースがあり、心苦しい面もあるとのこと。

士中や大賀郷中での練習の場合は三原中の生徒が移動している。各部活動公式戦の1ヶ月前は、学校の予算でタクシー等の利用は可能だが、金銭面の限度もあり、それ以外の移動は、保護者等の各自での移動や、乗り合いでの移動を行っており、仕事などで他の保護者をお願いするケースがあり、心苦しい面もあるとのこと。

國中中学生の合同部活を町営バスでの移動ができるよう、バス代金の無料化か、補助金を考えてもらえないか。

答 教育課長 指摘のようにバレーボール部と野球部は三中合同、バスケットボール部は富士中と三原中、サ

ッカー部は大賀郷中と三原中が合同練習を行っている。

合同練習におけるバス代金は、教育委員会が負担する形での検討になると思うが、学校や保護者に対してニーズ調査を行い、その結果を基に来年度検討したい。



中学校部活動合同練習風景

陸上競技用の400メートルトラックの建設を

答

合宿の誘致、住民の健康増進や地域の活性化に繋がるので八丈支庁に相談していく

スポーツ誘致を推進している八丈町だが、大きなイ

ベントもなく来島しているスポーツ団体も横ばいか減少しているのではないか。

近年、大手企業や大学の陸上部から合宿の話が来ていると聞くが、残念ながら八丈島には陸上競技用の施設はない。

八丈島スポーツ大使の木場克己さんも「そのような施設ができれば、自分が指導している陸上部も呼べる」と陸上トラック建設に前向きな意見を頂いた。

野球やサッカーに限らないう、新たなスポーツ誘致を推進するためにも、陸上競技用のトラックの建設を考えてほしい。私が考えているのは、八丈高校前の大賀郷園地である。

大島には東京都の陸上競技用トラックがあり、予約が取れないとのこと、八丈島に需要があるのであると思う。島内では中学校陸上競技大会、八丈高校陸上部、駅伝等の利用が見込まれ、健康増進にも一役買っているのではないかと。八丈支庁においても園地の活用に検討しているとのこと。

公園園法でトラックだけの建設は難しいと思うが、遊具やアスレチックの施設を併設した園地の活用を東京都に八丈町で提案できないか。

答 教育課主幹 スポーツ合

宿誘致の件については、昨年度は4団体216名、今年度は8月末現在では6団体297名、来年3月には2団体が来島予定である。

年々合宿の問い合わせは増加しており、企業や大学の陸上部の監督も視察をしている。その意見交換の中で、陸上用のトラックの必要性を伺っている。

大賀郷園地の活用を東京都に提案してほしいとのことだが、八丈町としても、施設の整備が進めば、合宿誘致はもとより、住民の健康増進や地域の活性化に繋がると考えている。まずは、八丈支庁に相談していく。

離島留学制度を継続するために町
ができることは

答
ホストファミリーが見つからな
ければ、受け入れは困難



奥山 幸子 議員

◆所要時間 36分

問 寮と寮母の現状は。

答 8月に寮母が退職したの
で、現在探している。

問 町と高校の連携はできて
いるか。

答 問題があるたびに、町と
高校と寮母が相談し、連携
はできていた。

問 今年の応募状況は。ホス
トファミリーは探せたか。

離島留学がスタートして
5か月が経った。事業の初
年度には、制度にも関わる
人にもとまどう場面がでて
くるのは、やむを得ないこ
とだと思つ。しかし、人材
育成や町の活性化に貢献で
きると期待されるこの事業
は、今後も続けていくべき
だ。どのような改善策があ
るのか、町の考えを伺つ。

問 生徒の現状は。

答 教育課長 全日制2人の
うち、8月に1人自主退学
したので現在1人。

問 事業継続のための対策は
どのようなものか。

答 町は、ホストファミリー
募集を広報や各種会議の場

面、また個別にお願いして
きたが、現実的な話をする
と難しかった。ホストファ
ミリーを確保できない限
り、受け入れは困難な状況
だ。

問 情報の共有し、町全体で
支える姿勢示すべきだ。ホ
ストファミリーが探せない
なら発想を転換し、寮にシ
フトすべきではないか。

答 教育長 寮化すると色々
コストがかかる。一度立ち
止まることも必要だ。

災害時のペット同行避
難を可能にするガイド
ラインの作成を

答
来年の狂犬病予防接
種時に間に合うよう
パンフレットを作成
する

今年も動物愛護週間が9
月20日から26日に実施され
る。今年度のテーマは、
「ペットも守ろう！防災対
策」となっている。東京都
によるガイドブック「東京
防災」には、動物救護につ

いては一切触れられていな
い。一方で、動物救護マニ
ユアルをつくっている区も
ある。災害は各地で起きて
いる。ガイドラインをつく
ることで、飼い主の安心と
マナー向上に役立つと考え
る。

問 動物同行避難に関するガ
イドラインをつくる考えは
ないか。

答 総務課長 現在、町では、
地域防災計画の見直しと避
難所運営マニュアルをつく
っているところだ。その中
で、飼い主への普及啓発を
図りながら、動物救護と飼
養動物の同行避難を検討し
ているところだ。

問 人の命のほうが大切な
で考えていないという数年
前の回答から一歩前進し
た。実際に避難所を考える
より、まずはパンフレット
を作るべきだ。同行避難を
可能にするための条件とし
て、散歩や給餌のほかケー
ジの持参など、マナーを身
につけることを飼い主に理
解してもらう必要がある。
これにより、通常避難の方
にも動物を飼養している方
にも大きな安心を与えるこ
とになる。ぜひ、パンフレ
ットの作成を。

答 防災計画の見直しをする
中で、様々な要件を解決し
なければならず、動物にど
れだけスペースをとれるか
難しいが、パンフレットの
作成は、来春の狂犬病予防
接種に間に合うようになん
とか努力したい。



全国の市区町村水道事業健全性ランキングが雑誌で発表され、八丈町は下位だった。大丈夫か

答

経営的に苦しいのは確かだが、年々改善してきている



沖山 恵子 議員

◆所要時間 13分

7月に雑誌(週間ダイアモンド)が、平成27年度の決算資料を基に、全国の市区町村の水道事業を分析し、健全性をランクづけする企画を行った。八丈町は、1219市区町村中かなり下位だった。毎年水道事業は経営的に大丈夫かと聞き、歴代課長が大丈夫と答えてきた。平成28年度の町の決算資料には26年・27年・28年と年々経営は改善していると書いてあり、何年度のどの数字を使うか、計算の仕方をどうするかで

年々良くなっている。尚一層努力する。

☎ 原水を低コストで手に入れると給水原価が下がり良いと思うが、ろ過膜を使わず、坂上の水を防衛道路経由で坂下に持って来るとか、新しい水源を探すとか良い方法はないか。

☎ 現施設を効率よく動かすのが良いと考える。

☎ 水道料金の値上げは考えているか。

☎ 今は考えていない。

☎ 水道料金より経費が高いのは変ではないのか。

☎ 水道事業の公共性や大切さを考え、経営的に苦しくても現料金を維持して欲しい。ご理解願いたい。



☎ 企業課長 水道使用量の低下による収入減少や施設の補修費の増加等が原因で、経営は良好ではないが、コスト削減と経営努力で

フリージアまつりにボランティアの活用は考えられないか

答

植付けは農協に委託しており、運営は実行委員会で行っている。委員会で協議する。

昨年度のまれに見る開花の遅れを踏まえ対策は考えているか。

フリージアまつりは、観光客は花をもらえるが、島民は見るだけでメリットがない。花を買いたくても業者が減り、手に入らないという声を聞く。そこで、保温用のビニール掛けの手伝いや、花がら摘みなどを一定時間ボランティアで手伝った人には、まつり終了後ある程度の花を差し上げるといいう仕組みをつくつたらどうかと考える。広報で人を募集登録し、手伝った人には、最後にお礼のお花をあげれば、ほとんど費用がかからず、やった方にもメリットがある。

☎ フリージアまつり期間中

に開花させる方策は。

☎ 産業観光課主幹 植付け時期が重要だと認識した。今年は早く植付けの対策を行うほか、間隔をあけて複数回植付ける予定。委託事業者との連携を密にして、まつり中の開花に臨む。

☎ まつり終了後に花をあげる約束でボランティアを活用する事は考えられないか。

☎ 花の作付けは農協に委託し、ビニール掛けも含まれている。またまつりは実行委員会が実施しており、シルバー人材センター等を活用しているためボランティアの必要はないと考えるが、実行委員会で協議する。



フリージアまつり会場

入学準備金の入学前支給と増額を

答 出せる方向で検討する



菊池 睦男 議員

◆所要時間 46分

から4万7400円に倍増した。義務教育費無償化のもとで、国も自治体も努力するのは当然である。

問 要保護（生活保護）児童数、生徒数は。

答 教育課長 小学生4人、中学生2人。

問 要保護の入学準備金受給者数は。

答 中学生1人。

問 準要保護児童数、生徒数は。

答 小学生45人、中学生29人。

問 準要保護の入学準備金受給者数は。

答 小学生8人、中学生10人。

問 入学準備金の入学前支給と準要保護支給額の倍増を。

答 来年度より入学準備金の支給のみ7月に早めて支給し、金額は、国単価並みに増額する。

問 町長 準要保護は18人なので、東京都全体を見ながら前向きに検討したい。時期は、手続きの仕方はあると思うので出せる方向で検討させてもらう。

『歴史文化基本構想』の構築を

答 平成31年度に着手する

歴史民俗資料館は、「歴史と文化に立脚した新しいまちづくりの象徴として整備する必要がある」（八丈町基本計画）そのためのマスタープランとして『歴史文化基本構想』を構築し、その一環としての歴史民俗資料館の位置づけ、役割、

在り方の検討が必要ではないか。

こつこつという立場に立つならば、『歴史文化基本構想』が先にあつて、歴史民俗資料館の移転や新築へという順序が進むべきだと思つが、町の実情は逆さまである。一刻も早く『歴史文化基本構想』を策定して、マスタープランを明確にすべきである。

問 どのような規模で、いつ頃を目途に構想を策定するのか。

答 教育課長 歴史文化基本構想は相当大きな課題であり、平成31年度に着手するが、その前に平成30年度に「八丈町文化財保全活用計画」に取り組む。規模としては、外部専門家、文化財専門委員、都の指導を仰ぎながら素案をつくり、民間を含めた委員会を組織する。この中で、資料館の活用計画も考えていく。

問 歴史民俗資料館を「まちづくり」に活かす

加の拠点」として活かすことが必要。場所について、いくつかの案が表面化しているが、私の提案だが、今の土地を東京都から払い下げてもらい、今の建物を再生、蘇生して利用したらどうか。

問 町長 できれば、今の歴史民俗資料館を東京都といつしよになつて、耐震問題から検討していく。検討委員会も今の歴史民俗資料館を中心に考えていければと思う。

● こんな質問もしました

問 質問 榎立富次朗商店下から教員住宅前を通る町道の側溝は、深くて水の流量が多く、危険なので蓋をつけてほしい

答 建設課主幹 町道康政ヶ里1号線は、指摘のとおり、蓋がかかっている区間があるため、早急に蓋をかけるようにする

障害者の方へタクシー券の助成を

答 他区市町村の制度を参考に検討を進める



水野 佳子 議員

◆所要時間 5分

現在、八丈町では、1級から6級までを含め、約420名の方が、障害者手帳の交付を受けている。

障害が重複されている方もおり、その中でも重度といわれる1級と2級の方が、約半数の200名です。

視覚障害、聴覚障害、肢体不自由な方々にとつて、島内唯一の公共交通機関である町営バスの利用は難しく、日常生活に不便をきたしている。病院や用事で外出する際には、家族の負担はもちろんだが、タクシーでの移動に頼らざるを得ない。

い。

車イス利用の方については、社会福祉協議会の移動サービスもあるが、その利用目的には制限がある。

東京都内23区や三多摩地区を含め、多くの市町村において、タクシー券やガソリン代の補助などさまざまな支援がなされている。

岡島内移動にかかる経済的負担を少しでも軽くするために町としても、タクシー券助成の支援制度を導入すべきと考えるが。

福祉健康課長 現在、八丈町において、島内交通機関への優遇措置については、障害者手帳の提示により、一部タクシー会社との10%割引、また町営バスについては、50%の割引がなされている。今後、付き添

いが必要な方や利用目的、対象範囲などの実態を把握し、他の市区町村の制度を

参考にしながら、検討を進めていく。

平成29年度町村議会議員広報研修会

9月28日開催

字ばかりはダメ！見た目が大事。読みたいと思う紙面作りを

議会だより編集委員3名（幸子議員・岩崎議員・筆者）と事務局1名で研修に参加してきました。

会場の砂防会館には、北海道から関東までの町村議会議員及び事務局職員400名で超満員の研修でした。内容は

◆文章の書き方

◆紙面の作り方

◆良い紙面を見ながら添削

の3点を中心に細かい指導を3名の講師が行い、とても勉強になりました。普段の文章作りにも共通する内容なので一部を紹介します。①中学生にわかる漢字と内容で、一つの文章を65字以内で短くする。義務教育が

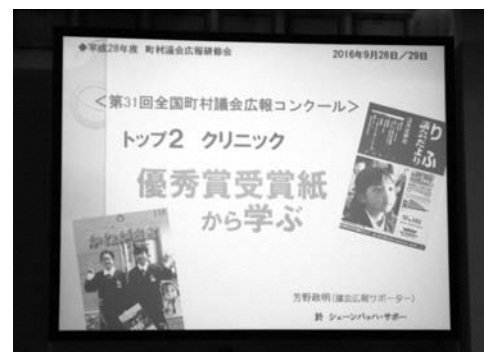
中学までなので中学生だそ
うです。

②見出しと見た目がとても大事、必ず付ける。内容をわかりやすく表し、次の文章を読ませる工夫をする。字ばかりでは読む気にならないため、3割くらい写真やイラストを入れると良いそうです。

③SNSに対応、携帯電話



研修会の様子



でも読める工夫。若い人は携帯電話で情報を得る。無料アプリで紙面に少し工夫すると携帯電話で読めるようになるそうです。

④I（私の）目線よりYOU（読む人の）目線。自分が発信したい情報より、読む人が知りたい情報を載せたほうがよいそうです。

以上、学んだ事を生かし、これからも皆様にわかりやすい情報を届けるよう、皆で力を合わせてがんばります。

（沖山 恵子）

第三回定例会の質疑から

アシナガバチの町の対応は



奥山博文議員

9月の広報にハチに関して掲載されていた。2〜3年前から聞いて

いたが、今年が増えてきているのでは。町はどのような対応を。

【についての周知は。等の質問あり。】



セグロアシナガバチ

国保料は値上がるの

奥山博文議員 都道府県化で保険料が値上がりする場合、概算はどれくらい。

住民課長 東京都で各区市町村から情報を集め、標準保険料率と町から都へ納める納付金の算定作業をしているが、まだ納付金額が示されておらず、保険料が算定できない。

菊池睦男議員 保険料を上げないでほしいと、町村会等から意見書を出してもらえないか。

町長 都から金額が上がってこないため、身動きがでない状況である。

大川浄水場の改修見通しは

奥山博文議員 大変古くなっている大川浄水場だが、改修の見通しはどうなっている。

企業課長 今年度、基本設計にとりかかり契約もした。来年度、所定の手続きを行い、平成35年度までには改修したい。

奥山博文議員 事業費はどれくらいかかるのか。

企業課長 まだ基本設計の段階のため、正確な数字は今のところ回答できない。

平成28年度公営企業会計決算より

看護師不足では

菊池睦男議員 職員配置表をみると、前年度に比べ看護師が2名不足。定数から4名減である。減員により他職員への過度の労働をさせていないか。

事務長 看護師は今年度、2名採用したが、他に応募がなかったため、派遣看護師2名に来てもらっている。なお、9月25日から1

名採用予定である。

病院収益について

山本志志議員 入院患者が減っているのに入院収益があがっているのはなぜか。

事務長 病院収益的には上がっており、抗がん剤投与等が増え、診療単価が増えたため。

その他

○ オリンピックメダルの作製用に携帯回収しないのか

○ 雇用機会拡充支援アドバイザーの現状は

○ 地域福祉計画は策定しないのか

○ 地域おこし協力隊2名の働きぶりは

○ 介護初任者研修の人数は

○ サービス付高齢者住宅の説明を

なども質問しました。

産業観光課長 ハチの巣が畑に多く、農業者が刺されてはいけないうと掲載した。ハチの処理については、取り扱う民間業者が2社あるため、紹介している。

奥山幸子議員 旧測候所へ移転するための予算の現状は。

教育課長 当初予算であげていた機械類の点検を行うまでの費用及び賃借料半年分の計約460万円は予算執行していない。一時移転先で使用するパネル製作や運搬費用等を12月補正予算で組替えさせてもらいたいと考えている。

歴民の移転費用は

事務長 時間外で処置を受けた方が10人程度いた。【駆除費用はどれくらい。アナファイラキシードシヨック

町ナビ

東京都、(公財)東京観光財団は、プレミアム付宿泊旅行商品券「しまぼ通貨」の販売を10月2日から開始した。旅行者はスマートフォンなどから1セット1万円分の商品券を7千円でオンライン購入できるもので、3千円のプレミアがつく。各島と竹芝の加盟店156店舗(9月22日現在)で利用可能で、宿泊施設で7千円分、飲食やお土産、レンタカーなどに3千円分が使用できる。これに合わせて16年7月に始まった「東京島めぐりPASSPORT」(愛称:しまぼ)の電子版「電子しまぼ」も登場した。ネットで行き先の情報を集めて自ら手配し、旅先での思い出はSNSで発信。決済はカードを使って行うというのが今の旅のスタイルになりつつある。



加盟店の店先にはのぼりが。(写真は観光協会事務所)

主な議決事項

8月臨時会 平成29年8月2日開催

- 平成29年度八丈町一般会計補正予算
- 今崎越富士山2号線道路改良工事請負契約
ほか契約1件

9月定例会 平成29年9月7・8日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について
(平成29年度八丈町一般会計補正予算)
- 八丈町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意についてほか同意1件
- 平成29年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算6件
- 平成28年度八丈町水道事業会計決算認定について
ほか認定2件
- 平成29年度八丈町病院事業会計資本金の額の減少について
- 議員の派遣について(第28回東京都道路整備事業推進大会)ほか承認1件

主な会議

全員協議会 平成29年7月3日開催

- 離島航空路の運賃低廉化について
- 地熱発電利用事業連絡会について
- 八丈島歴史民俗資料館移転・整備検討委員会の報告について

全員協議会 平成29年8月2日開催

- 航空路利用促進協議会(仮称)について

議会運営委員会 平成29年8月31日開催

- 平成29年第三回八丈町議会定例会について

全員協議会 平成29年9月8日開催

- 雇用機会拡充支援事業の採択結果について
- 平成29年度東京都・八丈町・青ヶ島村合同総合防災訓練について
- ホームステイホストファミリー事業について

編集後記

今年になって議員の数は定数の14人から2人減りました。もう一人減ると選挙になるきまりなので今は12人のままですが、議長を除くと実質11人です。私が議員になった頃(議員数16)にくらべ、議員の発言は随分少なくなつたように思います。ほとんど発言しない議員も

いますから、もめない議会になっていて、この頃、特にその感を強くします。議会は議論してこそ価値があります。結果はともかくそこいたる過程を公にすることが大切だと思うからです。議論が沸騰すれば、議会だよりもっと面白くなると思いませんか。 奥山 幸子

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 沖山恵子 山本忠志 岩崎由美